

2024年度
短期留学成果報告書

学年	専攻 (楽器等名)	留学先	期間
3	ピアノ演奏家コース	ショパン音楽大学	1ヶ月
1. 実施概要(具体的に)			
ソロのレッスンと室内楽のレッスンを週に2回(計8回ずつ)受けることができました。室内楽のレッスンでは先生から紹介していただいたショパン音大の学生と演奏することができます。また試演会や室内楽コンサートにも参加しました。練習室は1日2時間グランドピアノの練習室を利用することができました。今年は大学が工事中だったこともあり、大学外で練習することが多かったです。電子ピアノ・アップライトピアノであれば寮にある練習室を使うこともできます(ただしピアノの状態は良くありませんでした)。レッスン以外にも選択授業を2科目受講する必要があります。授業とレッスンはすべて英語で行われました。また、選択した授業のうち1つはzoomで行われました。			
2. 留学を通じて自身が得た成果			
憧れのショパン音楽大学で1ヶ月間学ぶことができ本当に幸せでした。慣れない環境で戸惑ったことも沢山ありましたがなんとかやりとげることができました。私が1ヶ月留学をして学んだことは2つあります。まず1つ目は演奏の変化です。レッスンでは姿勢をはじめ、タッチの仕方などとても細かく教えてくださり、音色の幅が広がったように思います。今回は学びたい曲が明確にあったため演奏方法など非常に勉強になりました。2つ目は自分自身が何を思っているのか遠慮せずに伝えることの大切さを学びました。レッスンなどでも日本にいるときより「私はこう考えるけれどあなたは思う？」と問われることが多く感じました。室内楽の合わせでも相手学生から楽器の特徴を教えてもらい、互いに意見を出し合い、尊重し合うことでより良い演奏にすることができました。もし話すことに自信が無かったとしてもどうにか伝えようと努力をすれば、相手も理解しようとしてくれます。間違った英語の使い方をしてしまったらどうしようと怖くなってしまいましたが、勇気を持って話すことが大切だと思いました。			
3. 反省点			
英語を聞き取ることや日常会話程度はできましたが、自分の意見を伝えるには話す能力が足りなかったと感じました。もっとスラスラ話すことができればより親密に、濃い話ができたとと思います。話す能力を身につけたいなと強く思いました。			
4. 今後の参加者に伝えたいこと(持ち物、事前学習等)			
レッスンカリキュラムはとても充実しています。ワルシャワはとても治安が良いと感じました。基本的には英語ができれば問題ありませんが英語が話せない人も一定数いるので、翻訳アプリを使用するなど事前準備や心構えが必要かもしれません。また学校案内なども特になく、大学での入学手続きをはじめ全てのことを自身で行わなければならないので、ショパン音大に通っている方やワルシャワに住んでいる方など知り合いの方がいると大変心強いと思います。気温は大体0℃～4℃程度で寒かったです。室内はかなり暖かかったので脱ぎ着しやすい服装だと便利です。また、ほとんど毎日雨がぱらついていました。基本カード払いができるので現金はそこまで必要なかったかなと思いました。寮では食事がつきませんが共同キッチンがあるので自炊することができます。大学や寮の近くにはレストランやカフェが沢山あります。ポーランド料理をはじめ食事はどれもおいしかったのでいろいろチャレンジしてみたいです。			